情　報　公　開　文　書

研究の名称	血中Cペプチドを用いた新規インスリン抵抗性指標CPR-Rによるメタボリック症候群の進行予測の評価
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人　富山大学
研究責任者	研究責任者　富山大学附属病院第一内科　講師　八木邦公
研究の概要	【研究対象者】 南砺市民病院健診科で健診を受ける方。 【研究の目的・意義】 インスリン抵抗性は、「インスリン作用臓器においてインスリン感受性が低下し、インスリン作用が十分に発揮できない状態」と定義されます。その成因には、内臓脂肪の蓄積によるアディポサイトカインの分泌異常、運動不足による糖消費の低下、筋肉量減少、加齢、ストレス、血糖上昇に伴う糖毒性、脂質異常症に伴う脂肪毒性など複数の因子が関与しています。インスリン抵抗性は糖尿病、高血圧、脂質異常症など多くの生活習慣病の基盤病態を形成します。インスリン抵抗性の程度を評価することは、治療介入の決定や介入後の治療効果の判定に必須です。我々はその指標をCPR-R(血糖×Cペプチド÷100)で評価した。前回2015年にデータを出したところ、空腹時血糖140mg/dl以下の健診受診者にてCPR-Rはインスリン抵抗性を表す指標HOMA-Rと相関しました。またメタボリック症候群の指標である、腹囲、空腹時血糖、中性脂肪、収縮期血圧、拡張期血圧の因子、BMIを含めてCPR-Rと相関しました。これらについては2016年の第59回　日本糖尿病学会年次学術集会にて発表しました。再度CPR-R　、メタボリック症候群の指標、糖尿病の発症について再検討し、5年たった現在の状態も確認します。 【研究の方法】 健診の際の採血の残存検体から検査します 【研究期間】 承認日～2021年7月31日 【研究結果の公表の方法】 021年　日本糖尿病学会　学術集会にて　予定しています
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	血糖、血中Cペプチド、腹囲、空腹時血糖、中性脂肪、収縮期血圧、拡張期血圧
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院　第一内科　八木邦公
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関におけ	富山大学附属病院　第一内科　八木邦公

る研究責任者氏名）	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 ・　研究対象者等からの相談窓口 附属病院第一内科　診療助手　朴木久恵 〒930-0194 富山市杉谷 2630　TEL: 076-434-2281（内線：7289） E-mail: hhhhisae@med.u-toyama.ac.jp